

第6回 まちづくり常任委員会会議録

令和元年7月29日(月)

委員会 議室

○会議日程

- 1 開会宣告(10時00分)
- 2 調査事項
 - (1) 建設管理課所管
 - ①建設管理課所管事業における補正概要説明について
- 3 その他
- 4 閉会宣告(10時24分)

○出席委員(7名)

委員長	2番	斎賀弘孝
副委員長	6番	吉原哲男
委員	1番	富樫直敏
委員	3番	植村敦
委員	4番	無量谷隆
委員	5番	岡本則夫
委員	8番	高橋秀之

○欠席委員(1名)

委員	7番	西澤裕之
----	----	------

○出席説明員

町長	野々村仁
副町長	岩川実樹
総務財政課課長	藤井和之
建設管理課長	島田幸司
建設管理課技術長	植村光弘
土木係長	若杉忍
建設G主事	染野龍馬
管理G主事	藤原潤

○議会事務局出席者

事務局長	植村美佐子
事務局主事	満保希来

齋賀委員長

おはようございます。

ただいまより、第6回のまちづくり常任委員会を行います。

常任委員会に先立ちまして、野々村町長よりご挨拶をいただきたいと思ひます。

野々村町長

おはようございます。

第6回のまちづくり常任委員会にご参集をいただきまして、ありがとうございます。

私の事情もございまして、急ぎでこの常任委員会を開催することになりましたことをお詫びを申し上げたいと存じます。終了後、本州のほうへ中央要請ということになってございしますので、本日の日程をとらせていただきました。

案件は建設管理課所管の執行状況と新規事業の説明ということで、常任委員会で説明をさせていただきます。

忌憚のないご意見等をいただければと思ひますので、よろしくお願ひいたしたいと思ひます。

齋賀委員長

ありがとうございました。

今日の常任委員会、西澤委員が欠席ですけれども、定足数に達しておりますので、引き続き会議を行います。

本日の調査事項は建設管理課所管、建設管理課所管事業における補正概要の説明についてであります。

それでは、説明を求めたいと思ひます。

島田建設管理課長

建設管理課所管事業における補正概要説明の3つの事業についてご説明いたします。

まず1点目の問寒別除雪センター整備事業について、お配りしております別紙資料1によりご説明させていただきます。

本事業については、①当初工程表のとおり、2月竣工を目途とした計画でございました。

新たに整備する除雪センターは、当初、昭和61年建設の現除雪センター建設事業における地質調査データを元に構造計算を行う予定でしたが、実施設計業務受注者より、調査データが33年前のものであり、現在の地盤状況と異なる可能性が想定されるため、再度地質調査をする必要があるとの見解が示されたことから、5月29日付けで、ボーリングによる地質調査を追加した設計変更と委託料の増額を行い、工期を7月12日から9月20日と約70日間延長しました。

また、新聞報道等でもご承知の方もいらっしゃると思ひますが、2020年に開催されます東京オリンピックの影響により、鉄骨造建造物には必要不可欠な高力ボルトの需給がひっ迫し、納期についても、8ヵ月間まで長期化していることから、全国的にも納期の遅延による工期への影響が出ており、本事業についても、高力ボルト約700本を使用しますが、今年度中に納期できない事態となりました。

以上の理由により、②現工程表のとおり、今年度は基礎工事までとし、令和2年に施行完了とする2ヵ年計画での事業と考えましたが、基礎工事が冬期施工となるため、夏場の施工

と比較すると、採暖養生などに約200万円ほどの経費がかかることから、当初よりも大幅な変更となりますが、今年度については、杭工事までとした③新工程案の通りといたしました。

本事業における予算上の変更などについては、現在実施設計中でありますので、事業費が固まり次第、9月定例議会において補正予算として上程させていただきますので、よろしくお願いいたします。

次に、2点目の問寒別除雪センター補修事業について、別紙資料2によりご説明させていただきます。

現在の除雪センターは、昭和61年建設の建物で、建設から33年経過しており、屋根や軒天などの損傷が激しいことや、シャッターの開閉に不具合があることから、この度施設全体の補修工事を行おうとするものであります。

事業費は1,321万1千円で、補修の主な概要は、屋根全面ふき替え、軒天張替え、塗装、シャッター補修、調整を行うものであります。

なお、完成は11月末を予定しております。

3点目の町道幌延22号線道路横断管改修事業について、別紙資料3によりご説明させていただきます。

本路線については、平成30年4月19日に横断管破損による道路陥没が発生したため、現在まで通行止めの状態となっております。

本路線沿いには、牧草畑が存在し、4つの農家の方が牧草の収穫を行っておりますが、本路線を通行止めに行っていることにより、収穫作業にご迷惑をおかけしていると判断したことから、このたび改修工事を行おうとするものであります。

事業費は957万円で、改修の主な概要は、約11メートルのコルゲート管の入替えを行うものであります。

なお、完成は12月中旬ぐらいを予定しております。

2点目の問寒別除雪センター補修事業並びに3点目の町道幌延22号線道路横断管改修事業の2事業につきましては、本格的な積雪期を迎える前に事業完了としたいと考えており、工期を設定したところ、9月の定例議会では間に合わないことから、8月に臨時議会を開催していただき、補正予算を上程させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上、建設管理課所管事業における補正概要説明について、ご説明させていただきました。
斎賀委員長

ありがとうございました。

調査事項が3点ありましたので、1点ずつ絞って皆さんに意見を聞いてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

それでは1点目の問寒別除雪センター建設工事の工程について、意見を伺いたいと思えます。

質問のある方、意見のある方は指名を受けてから、マイクのスイッチを入れて発言してください。

これ税込みで計算してあるんですかね。

(島田建設管理課長「はい」)

10月から、消費税が変わっても、それも変わって全部計算しているということですね。

(島田建設管理課長「はい」)

わかりました。

植村委員

2020年のオリンピックの影響で資材の納期が遅れているということで、こういう工程表になったということなんですけども、幌延町のいろんな事業あると思うんですけども、このほかにもこういった影響っていうのはあるんですか。

島田建設管理課長

お答えします。

今のところはですね、問寒別の除雪センター整備事業のみですね。町のほうで発注を考えている事業については、これのみです。

ただ今後、橋梁等の補修等が出てきたときには、補修の内容にもよると思うんですけども、影響が出てくるのかなと思います。

先ほどの説明でも、お話しさせていただきましたが、全国的にもひっ迫している状態ということで、いろんな事業が工期が遅れており、いろんなところに影響が出てると聞いてます。

齋賀委員長

ほかに意見ありませんか。

(「なし」の声あり)

では、1つ目の問寒別除雪センター建設工事の新しい工程については、ひとまず置いておきたいと思います。

2点目、問寒別除雪センター補修事業についての説明、意見を求めたいと思います。

無量谷委員

建替えをするに当たって、またさらに事前にトタンを張替えるっていうことはこれ、この建物を永遠に違うほうで使う余地は何か考えてるのか。すぐ新しい建物になるのに何故トタンを張替えるのかなど。

島田建設管理課長

今回の補正で上げさせていただくのは、今現在使っている問寒別の除雪センターの補修を行うものであります。

新しく建設するものについては、その隣の今年建設する予定ということです。

トタンについては、現除雪センターの屋根の張替えということです。

無量谷委員

何でトタン張替えるのかって話。

島田建設管理課長

今の除雪センターについては、3台車を入れられる状態なんです。そこに今4台入れています。かつ、町のほうから、問寒別のほうに除雪に行っているタイヤショベルもありますので、計5台が問寒別のほうで、除雪のほうで稼働している状況です。

それで、現除雪センターについては3台しか入らないので、その残りの2台分を入れる車庫を新たに建設するというものです。

無量谷委員

そうするとこれは今使ってるセンターは補修しながら、まだ活用するというで考えていいのかな。だから、最初の新しく建てるっていうのは、これを壊して建替えるわけじゃないんですね。

(島田建設管理課長「はい」)

齋賀委員長

ほかに意見ありませんか。

無いようをですので、一時置いといて、3番目にいきたいと思います。

町道幌延2号線の道路横断管の改修事業についての意見を求めたいと思います。

無量谷委員

コルゲートは結構寿命が短いので、コンクリートのボックス枡というような施工にできないものかなと思うんです。これは鉄なので、同じコルゲート管ということは、寿命が短くなるのかなと思います。

工事費が高くなるかもしれませんが、コンクリート枡にはならないのかな。

植村建設管理課技術長

今の質問にお答えします。

現在既設のやつはコルゲート管で、腐食して陥没したというような状況なんですけど、当初、うちのほうでもコンクリート管、ボックスですね。これで施工しようかなとは思ったんですが、基礎自体がまだ壊れてるわけではなく、十分使えるということで、それでコルゲートパイプの上の部分だけ交換すると。そうすることによって、経費の節約だとかそういった面もあるのかなと。

ちなみに、これも昭和61年ぐらいなので、30年近くは、これからまだ大丈夫なのかなというふうに考えて、現在のものと同じようにするというのを考えております。

吉原副委員長

工事の期間はいつ頃までかかるんですか。

植村建設管理課技術長

12月10日までです。

吉原副委員長

経費削減ということで、コルゲートでまたやるということだけど、これあっちこっちでコルゲートが破れているんだよね。ましてや結構大きいメインの配水だよね、これ見ると。し尿処理場のところに抜けてる、鉄道の防風林からの水を全部集めてきてる大きな排水のコルゲート管なんでね。また2、30年したらまた壊れるんでないかなと思うんですが。

うちのほうの小さい排水の取り付け部分が落ちて、2、3年前に森崎さんかどこかで直してもらったよね。それは、コルゲートでなくて、ヒューム管入れたよね。入れなおしたよね。そういうことから考えると、耐用性どうなんでしょうねと。

ここの道路は道道まで抜けられる道路だよね。結構通ると思うんだよ。だから、その辺はどうなのか、どう考えているのかを聞きたい。

植村建設管理課技術長

今吉原議員のほうからお話がありましたけれども、うちとしても小さいボックス、600とか800、あるいは千だとかっていうのであれば、根幹に全部入替えております。

ただ今回の場合は、3メートル以上のボックスとなりますので、そうなると、先ほど言いましたけれども、事情が事情なものですから、上だけ替えるというような考えでいます。また2、30年したらだめになるだろうという考えもありますが、また2、30年後になったら、財政事情だとかもどういったふうになるのかわからないんですけども、一応今のところはそれでいきたいと考えております。大きいところはですね。

苦情的には、今回、資料2の図面についているところで、黄色の線が入っているんですが、この道路を回っていただければ、何とかたどり着くという形なので、ちょうど真ん中の幌延2号線。ここも去年、草刈りだとかで、砂利を引いて、通れるようには一応しております。あとは、終わるまでは何とか、この回り道を利用させていただきたいなというふうに考えております。

吉原副委員長

もう一つは、防災の関係も考えてるのかなと思ったりしたんですけど、どうなんですかね。これやっぱり大きな排水は、防災である程度掃除してくれるか、埋まったところ直してくれるかってそんなことも出てくると思うんですけど、その辺の考え方はないんですか。

岩川副町長

ただいまの農地防災事業の事業計画の中に入っていないのかというご質問かと思えますけども、農地防災事業の基幹排水と、それに沿った基幹排水の事業ですんで、ここの排水については、計画に今ところ入っておりません。

吉原副委員長

せっかく大きな事業が入るんですから、ここばかりでなくて、ひどいんですよね。例えば、北星園から流れてくる川ありますよね。あれがほとんど、川底が高くなったんでなくて、ほかの地盤が沈下して、川が高くなってきたんです。だんだん。それは何が1番わかるかって言ったら、橋ですよ。橋は低くならないですから、橋はそのまま。それと橋を越えていくことできないぐらいの段差が付いてる。結局そういう大きな事業があるということは、幹線暗渠も掘るといことは、これらを掃除してもらわなければ、恐らく水が流れないんでないかな。そういう配慮もしていかなきゃならないんでないかなと思うんですけど、その辺はどうですか。

野々村町長

今回の事業についてのコルゲートのお話もさせていただきましたけども、先ほど言われたとおり、それぞれ費用の面、費用対の面から見ても、この30年サイクルで替えていく。このほうが維持管理はさせてもらいやすいということがまず第1点で、これを選択したということ、あとは、河床部分の上げ下げところでは、農地防災の計画の中に組み込まれてないというところの地域でもある。

ただ、産業振興課のほうでやっている多目的利用型で排水とか、そういうこと自体では、一生懸命計画的にやっていけるということもあるので、集落の皆さんが合意形成をさせていただいて、集中して、4件、5件あるようなところっていうのは、床下げを計画的に持っていけば、多面的機能でやっていけるのではないかなということだと私自身は思ってます。

ただ、河川の場合は、途中から道河川なので、今一生懸命お願いして、オンネベツがようやくと北海道によって、数年かけて床下げをしてもらおうということでもありますし、ここもそういうことで道河川の部分については、河床の支障が出てるときには、下げてもらおうような

要請をしていこうと思っておりますけど、ようやくオンネベツが、事業計画の中に入ってきたということで、あちらも上流が農地防災であるのにも関わらず、河床が高くて、飲めないということもあって、ずっと数年、交渉してきたんですけどもやっとそこが一気にではないですけども、河床を下げただけのことになってきたということですから、それも計画的に見て、その先、町の部分はどうするかということも含めて、今後検討していければと思っております。

吉原副委員長

今、北星園の話出ただけで、あそこはですね小島敏則さんのすぐ下に落差工があるんですよ。

ところが今、落差工なんか何も見えないでしょ。1メートル以上の落差工があったんです。それで、結局落差工をつけて、上流を余り深く下げないっていうのは何故かって言ったら、鉄道横断があるわけです。鉄道横断だけを新しく橋をかけるとか何とかじゃなくて、圧入で抜いてもらって、ちょっと下げて抜いてもらったその経過の形が残ってると思うんですよ。

今回もし、あれをいじるとすれば、全体が下がってるんだから、JRとの関係でそこら辺の交渉もしていかなきゃならないのかなど。圧入するって言ったってJRうるさいでしょ。なかなか大変だと思います。それも動かす時、何かあったときには、それらも考慮してほしいなということです。

斎賀委員長

要望ということで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

ほかに何か。

(「ありません」の声あり)

ないようでしたら、全体通してありませんか。

(「ありません」の声あり)

あと、補正については先ほど説明あったとおり8月の議会ということでありますので、皆さんよろしくお願ひします。

3、その他について。何かありますか。

(「ありません」の声あり)

ないようですので、閉じたいと思ひます。

以上をもちまして、第6回まちづくり常任委員会、全ての調査事項を終了します。

ご苦勞様でした。

(10時24分 閉 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

委員長 齋賀弘孝

以上、記録する。

主事 満保希来